

### 13. 副看護師長が部署の教育に主体的に取り組むための動機づけ・支援について

鹿児島大学医学部・歯学部附属病院 宮園 きよ子

#### 【実践の概要】

看護管理者（看護師長・副看護師長）のマネジメント力が人材育成・実践現場での看護の質に大きく影響を与え、中でも副看護師長の現場への影響力は大きい。しかし、その役割は現場において直接的業務の比重が大きく、管理面についてはその役割を十分に果たせているとは言い難い状況がある。今年度看護部として、副看護師長の看護管理面での役割拡大・管理業務時間の確保の方針が出された。このことを受けて、教育体制についても部署との連動を効果的に図るため、副看護師長が部署の教育に主体的に取り組むように動機づけ・支援することが看護部副部長（教育担当）に求められている。

副看護師長が委員である部署教育係連絡会の開催が昨年度は年2回であったが、本年度は隔月開催になったことを活かし、教育体制についての部署間の情報交換の機会を確保し、会議では目標管理マニュアルの副看護師長の成果責任について、具体的な実践レベルの内容や部署毎の教育計画についての情報交換の場を設け、研修受講状況やクリニカルラダーの取得状況についての情報提供を行った。合せて急変時シミュレーションは全部署、部署主体での企画・実施を支援し推進した。その結果、部署や副看護師長間の連携、教育委員会と部署の教育体制の連動強化が図れた。

#### 【実行計画】

1. 副看護師長の看護管理面での役割の比重は部署や当該看護師長の方針によって格差があるため、部署教育係連絡会の中で、目標管理マニュアルの副看護師長の成果責任について看護師長から権限移譲を受け担当している役割の情報交換や討議の場を設け研修も行うことで管理への動機づけとする。評価は、教育関連の管理業務の実践状況について年度初めと終わりを比較できる調査を実施する。
2. クリニカルラダーの取得を推進するため、部署教育係連絡会を通して部署毎の研修受講やクリニカルラダー取得状況の情報を提供することで、自部署のスタッフの教育背景を把握しスタッフ個々に対応した教育支援を行えるようにする。
3. 昨年度は教育委員会主導で実施した急変時シミュレーションを部署主体で企画、医師・他部署の協力を得て実施するように計画することで、医療チーム・部署間の連携強化に繋げる。
4. 看護研修センターを設置し、クリニカルラダーの取得・マネジメントラダーシステムの導入も進んでいる長崎大学病院を施設訪問し具体的な取り組みを学び今後の教育体制の見直し・構築に活かす。

#### 【結果およびまとめ】

1. 副看護師長の教育関連の管理業務の実践状況について、12月実施した調査では、目標管理マニュアルの副看護師長の成果責任等について、部署教育係連絡会で討議したことで具体的なヒントが得られ部署で実践しているとの意見があり、看護師長からの権限委譲については年度当初、権限委譲の認識事態も低い状況があったが年度の終わりには全員が権限委譲を受け管理業務を担当していると回答していた。そして、教育関係の管理業務の実践状況も平均30%拡大していた。
2. クリニカルラダー取得に関する支援はほとんど看護師長が担当していたが、スタッフのラダーレベルや取得要件を把握できたことでレポート指導や部署評価時の指導を担当するようになっていた。
3. 急変時シミュレーションには看護師128名、医師20名の参加があり他部署の副看護師長も相互に評価者等の役割で参加し、実施後の課題については部署でタイムリーに追加研修を企画実施できた。
4. 長崎大学病院では大学保健学科と連携し、新人看護職員の臨床研修体制構築を見据えて、ハード面の整備や看護部の教育体制の見直し、クリニカルラダーの取得推進、さらに将来的にマネジメントラダーシステムの導入に向け方向性・具体的な対応について参考にできる情報が得られた。

## 【評価】

部署教育係連絡会で目標管理マニュアルの副看護師長の成果責任等について、同じ立場での経験知を含めた情報交換や討議を行ったことは看護師長からの権限委譲を受けての管理業務遂行についての認識を高めるとともに、管理業務の実践状況の拡大に繋がった。特に、研修を追加した看護研究の推進と臨床指導者支援に関しては管理業務の実践状況が40～50%とより拡大し効果的であった。部署主体で企画、実施した急変時シミュレーションは医師・他部署の副看護師長も相互に評価者等の役割で参加したことで部署間の連携強化が図れ、実際の急変時の対応・体制強化にも繋げることができる。また、実施後の課題についてタイムリーに部署が研修を企画、教育委員会が支援し実施したことは教育委員会と部署の教育体制との連動強化にも繋がった。